

2012年3月期第2四半期決算説明会

2011年11月4日

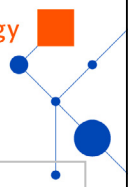
日本写真印刷株式会社

代表取締役社長 兼 最高経営責任者 鈴木順也

NISSHA

Nissha Confidential Proprietary

1



2012/3期第2四半期 ほぼ公表予想のとおり

2012年3月期第2四半期累計(4月~9月)経営成績

(百万円)

	2011/3期 H1実績	2012/3期 H1計画 2011/9/16公表	2012/3期 H1実績	前年同期比	計画比
売上高	54,553	42,500	44,087	▲19.2%	+3.7%
営業利益	▲1,020	▲4,800	▲4,181	—	—
営業利益率	▲1.9%	▲11.3%	▲9.5%	▲7.6pt	+1.8pt
経常利益	▲1,441	▲5,400	▲4,808	—	—
四半期純利益	▲1,103	▲21,000 ※	▲19,603	—	—

※ 事業構造改善費用9,678百万円を含む特別損失10,846百万円を計上

事業別 売上高	産業資材	23,478	19,500	20,957	▲10.7%	+7.5%
	デバイス	21,715	14,500	14,485	▲33.3%	▲0.1%
	情報コミュニケーションその他	9,359	8,500	8,643	▲7.7%	+1.7%
事業別 営業利益	産業資材	3,004	-	▲110	—	—
	デバイス	▲914	-	▲1,441	—	—
	情報コミュニケーションその他	▲104	-	14	—	—
	調整額(全社費用等)	▲3,006	-	▲2,643	—	—

NISSHA

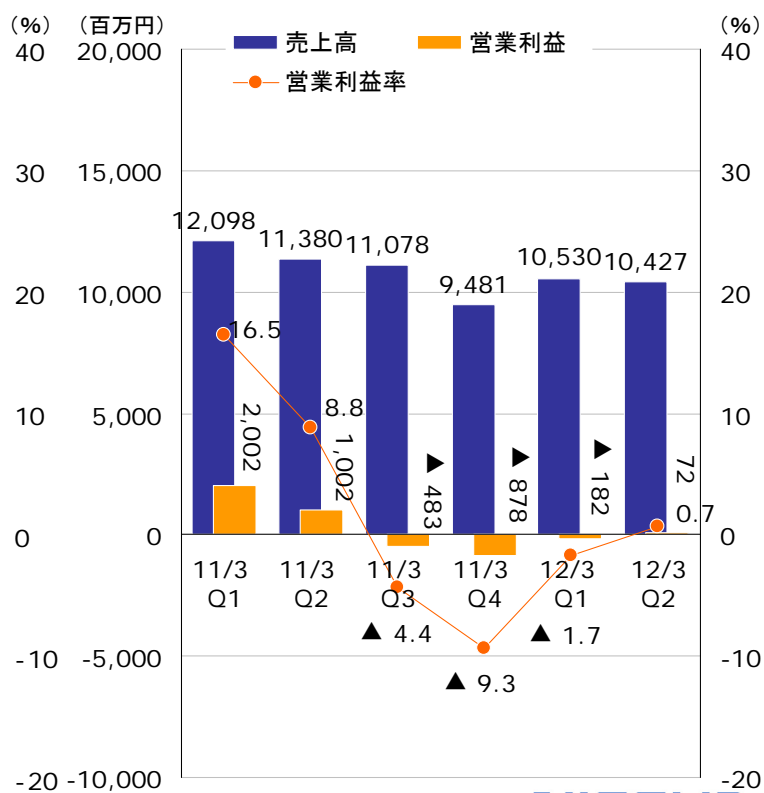
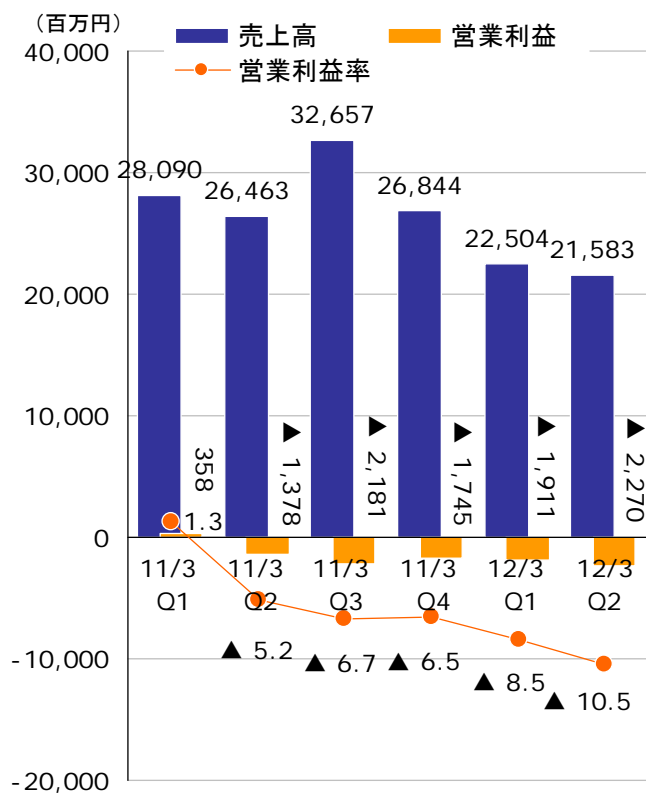
Nissha Confidential Proprietary

2

2012/3期Q2(7月~9月) 産業資材の利益面が改善

全社 売上高・営業利益の推移(四半期)

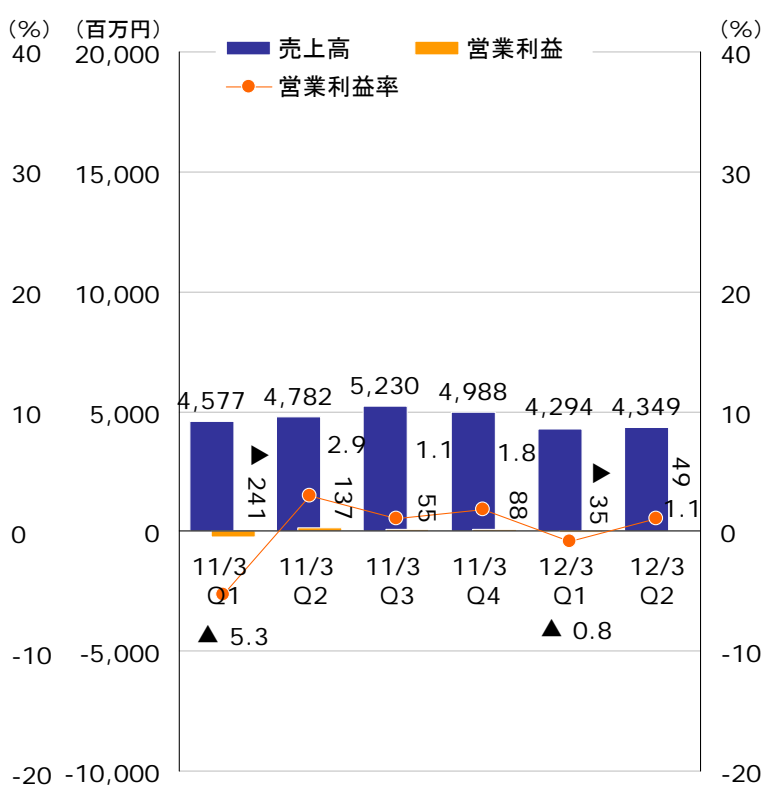
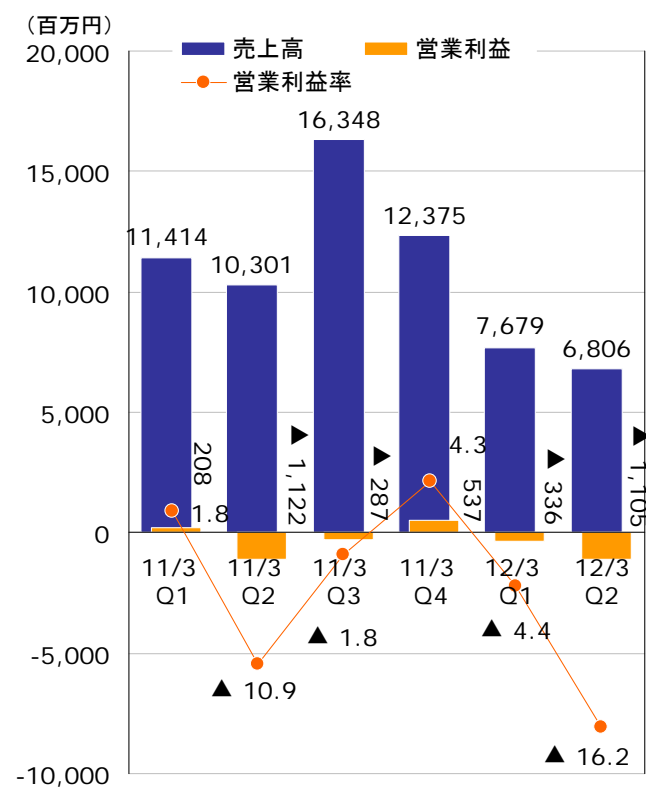
産業資材



2012/3期Q2(7月~9月) デバイス売上高が低調に推移

デバイス

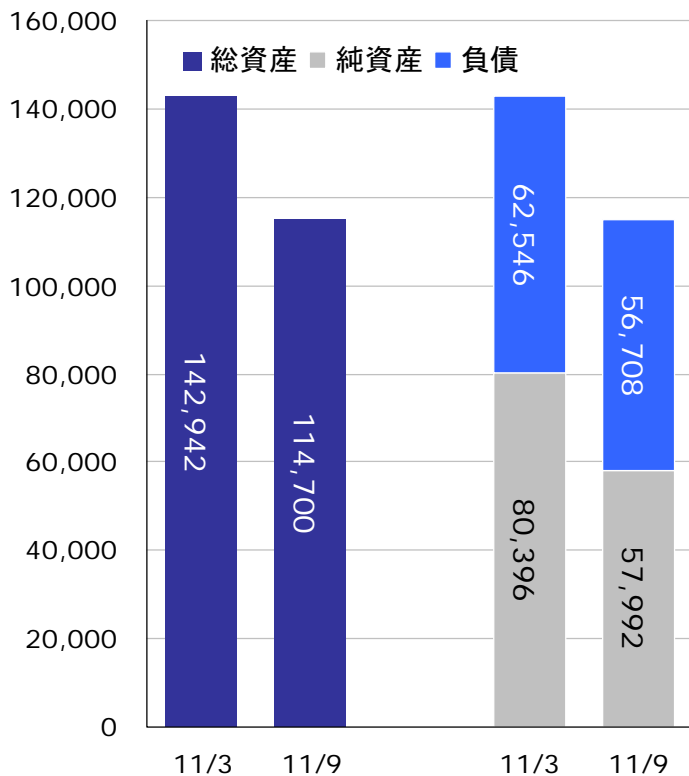
情報コミュニケーションその他



2012/3期第2四半期 貸借対照表の概要

総資産、負債、純資産の前期末比増減

(百万円)



●総資産の主な増減

- 受取手形および売掛金の減少 ▲6,625
- たな卸資産の減少 ▲3,590
- 有形固定資産の減少(減損等) ▲7,986
- 繰延税金資産(固定)の減少 ▲4,634
- 投資有価証券の減少 ▲3,639

●負債の主な増減

- 支払手形および買掛金の減少 ▲7,532
- 事業構造改善引当金 +3,150

●純資産の主な増減

- 四半期純損失の計上等に伴う利益剰余金減少 ▲20,569
- その他有価証券評価差額金減少 ▲2,182

NIESHA

Nissha Confidential Proprietary

5

2012/3期第2四半期 キャッシュ・フローの状況

キャッシュ・フロー計算書の概要

(百万円)

	11/3 H1 実績	12/3 H1 実績	前年同期比	12/3期 H1 実績の概要
営業活動による キャッシュ・フロー	778	7,149	+6,371	●税金等調整前四半期純損失 ▲15,486 ●減価償却費 +4,487 ●事業構造改善費用 +9,678 ●運転資金の減少による増加 +2,667 ●法人税等の還付額 +2,632
投資活動による キャッシュ・フロー	▲5,535	▲1,210	+4,325	●有形および無形固定資産の取得 ▲3,123
(フリーキャッシュ・ フロー)	▲4,757	5,939	+10,696	
財務活動による キャッシュ・フロー	1,159	▲1,591	▲2,750	●短期借入額の減少 ▲303 ●リース債務の支払 ▲324 ●配当金の支払額 ▲962
現金及び現金同等 物の期末残高	21,390	21,058	▲332	

NIESHA

Nissha Confidential Proprietary

6

2012/3期 通期予想は修正公表(9/16)のとおり

2012年3月期通期業績計画

(百万円)

	2011/3期 実績	2012/3期 期初計画 (2011/5/12公表)	2012/3期 修正計画 (2011/9/16公表)	前期比	期初計画比
売上高	114,054	118,000	80,000	▲29.9%	▲32.2%
営業利益	▲4,946	300	▲11,000	—	—
営業利益率	▲4.3%	0.3%	▲13.8%	▲9.5pt	▲14.1pt
経常利益	▲5,396	500	▲11,300	—	—
当期純利益	▲2,464	250	▲27,000	—	—
事業別 売上高	産業資材	44,037	45,000	▲21.2%	▲22.9%
	デバイス	50,438	53,000	▲47.5%	▲50.0%
	情報コミュニケーション その他	19,577	20,000	▲4.0%	▲6.0%

7

Nissha Confidential Proprietary

NISSHA

営業利益の増減要因

2011年3月期上期 → 2012年3月期上期

2012年3月期上期 → 2012年3月期下期

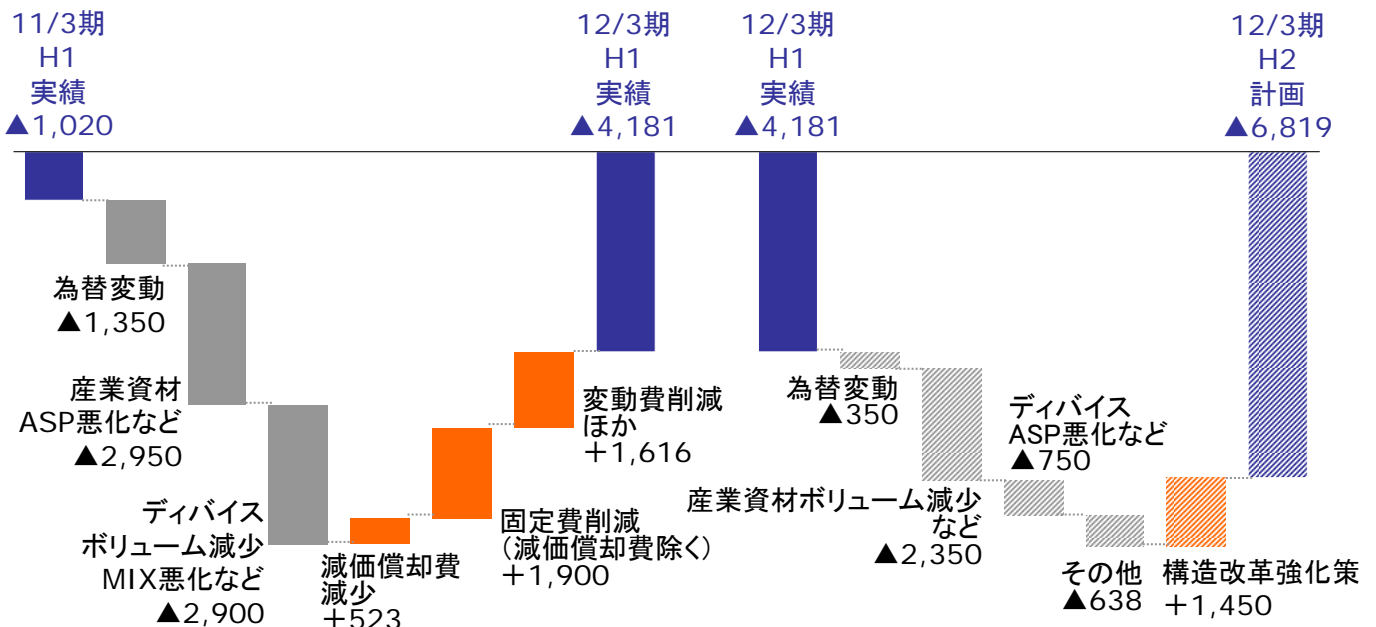
(百万円)

為替レート

11/3期H1平均: 89円/ドル

12/3期H1平均: 80円/ドル

12/3期H2前提: 77円/ドル

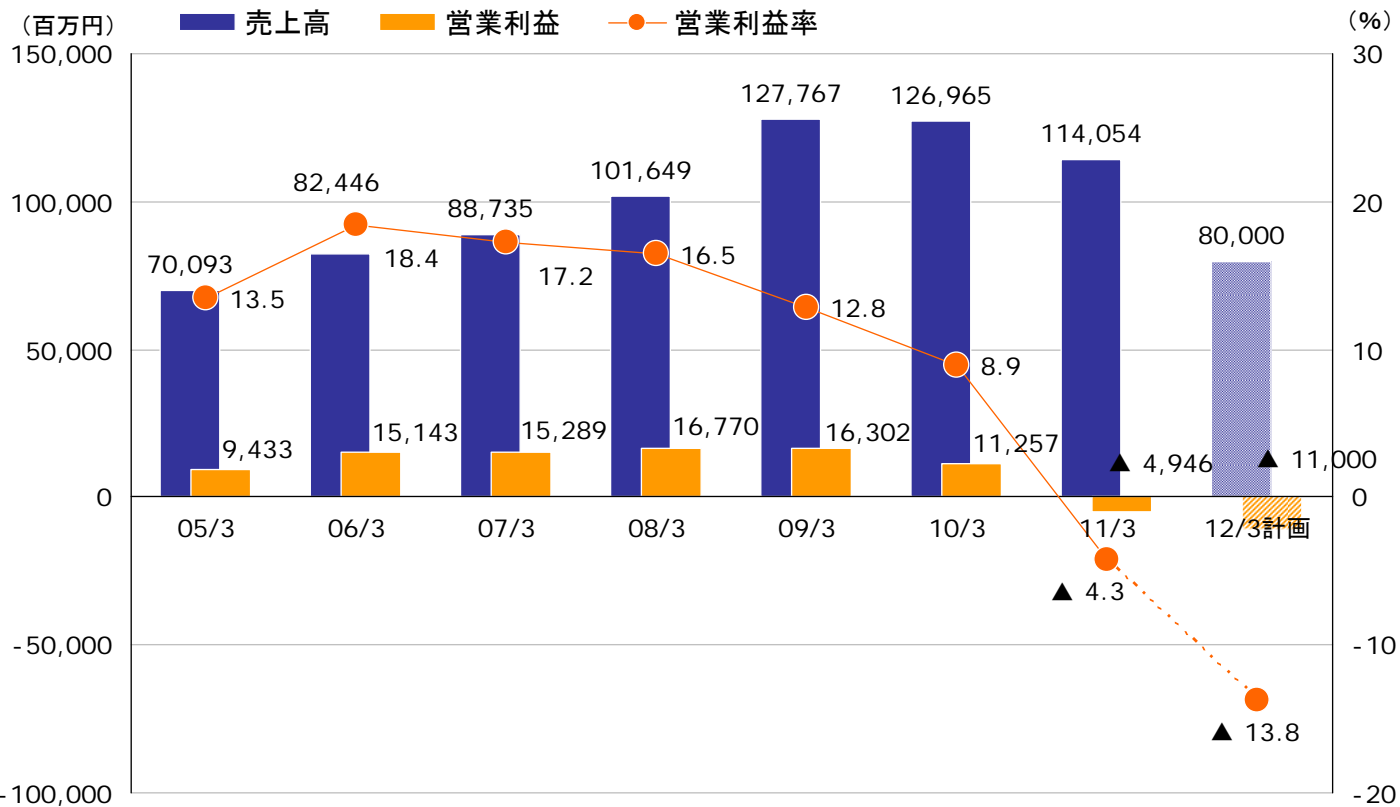


8

Nissha Confidential Proprietary

NISSHA

業績推移(通期)

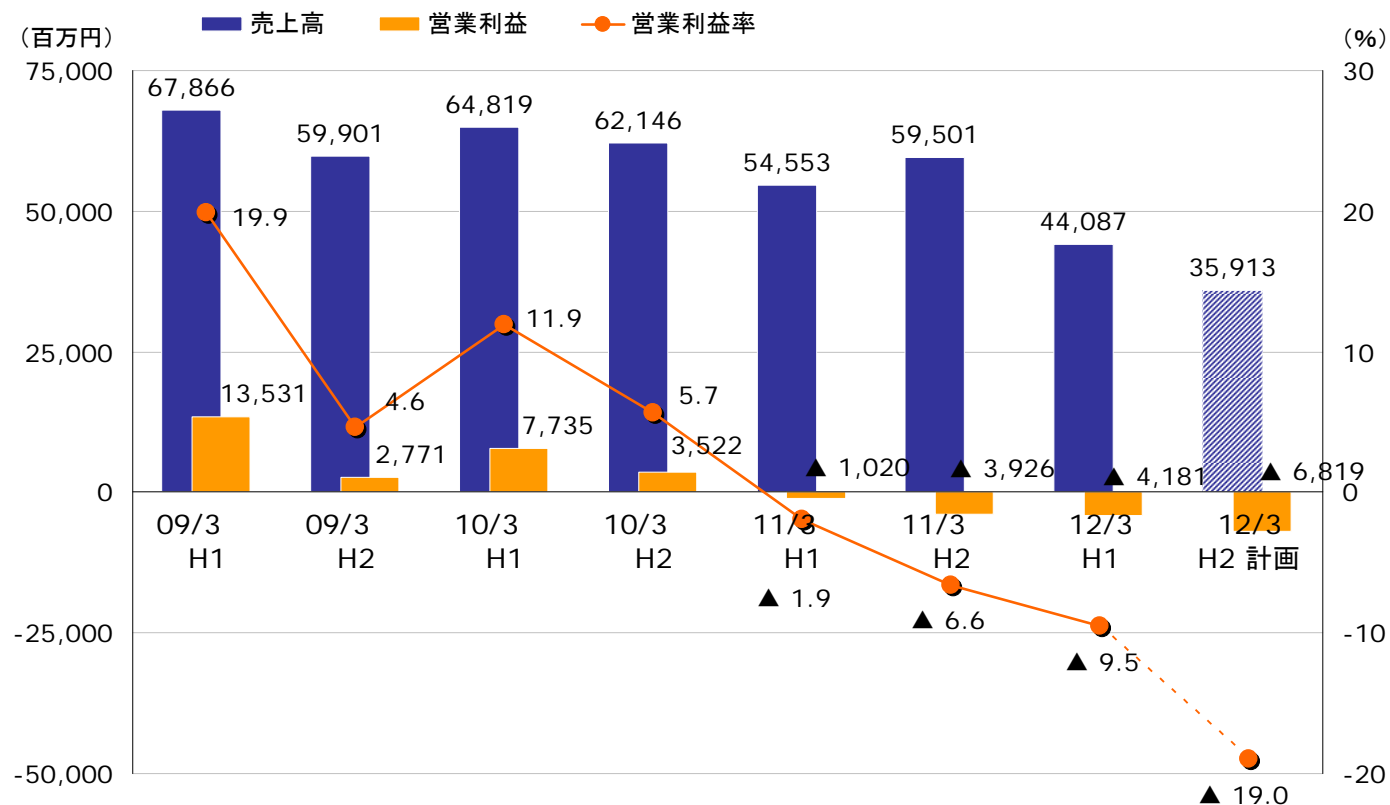


9

Nissha Confidential Proprietary

NISSHA

業績推移(半期)



10

Nissha Confidential Proprietary

NISSHA

構造改革(強化策)を断行、 次期中期経営計画への布石も打つ

2011/3期

2012/3期

2013/3期

2014/3期

2015/3期

2016/3期

継続中の構造改革 (強い会社を目指す)

従来の取り組み
(今すぐとるべき対策)

- 固定費の削減
- 変動費の削減
- 不採算事業・受注の改善・撤退 } 継続
- 在庫の削減(営業CF改善) } 2012/3期完了(予定)
- 設備投資の削減(投資CF改善) }

- 事業組織の改革 } 完了
- 品質体制の立て直し } 進行中
- 購買・サプライチェーン戦略の再構築
- 経営の「見える化」を早期正常化(ERP)

- 損益分岐点の引き下げによるコスト構造改革
- 生産拠点の統廃合による資産効率の改善
- 円高対応力

- 事業・技術・製品・お客さまポートフォリオの最適化 } 継続

さらに強化して実行

構造改革の強化

次期中期経営計画に向けた取り組みを加速

- 生産拠点の海外進出
- 海外購買の強化
- 新製品の発表
- 印刷技術の多様化

第4次中期経営計画

次の成長
ステージ

NISSHA

11

Nissha Confidential Proprietary

構造改革(強化策)の目標と費用

コスト削減目標(2013年3月期末まで)	約90億円
固定費の削減 <ul style="list-style-type: none"> ● 減価償却費の減少 <ul style="list-style-type: none"> ● 工場・設備の減損・除却 ● 人件費削減 <ul style="list-style-type: none"> ● 役員報酬、給与・賞与の削減 ● 正社員 希望退職者募集 国内Nisshaグループ 400名程度 (11/7~11/18募集、12/31付退職) ● 非正社員 契約終了 300名程度 ● 経費削減 	約63億円
変動費の削減 <ul style="list-style-type: none"> ● 良品率の改善 ● 材料費の削減 ● 外注加工費の削減・内製化 	約27億円
構造改革費用(2012年3月期特別損失)	※ 約104億円
固定資産の減損損失など	約72.5億円
希望退職者募集にともなう特別加算金・再就職支援プログラム費用	約31.5億円

※事業構造改善費用9,678百万円に固定資産除売却損を加えた金額

NISSHA

12

Nissha Confidential Proprietary

コスト削減効果（構造改革強化策、従来の取り組み）

固定費の削減額

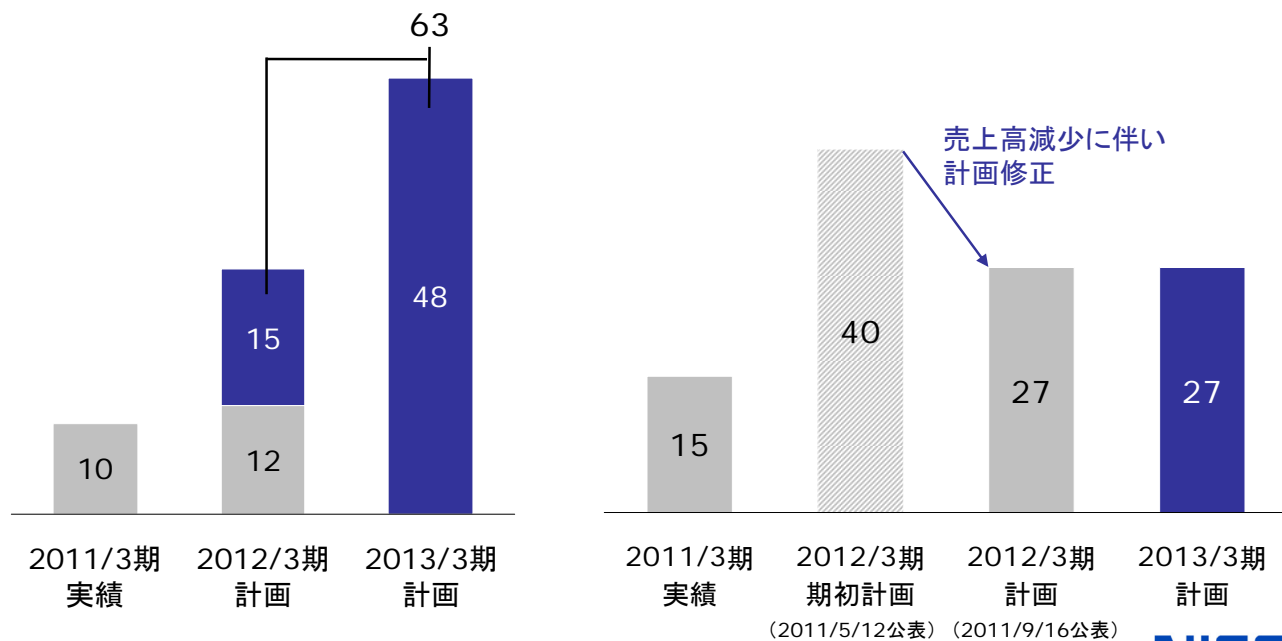
変動費の削減額

■ 構造改革強化策による削減額

■ 従来の取り組みによる削減額（構造改革強化策着手前からの「今すぐ取るべき対策」）

（億円）

※削減額＝対前年比



NISSHA

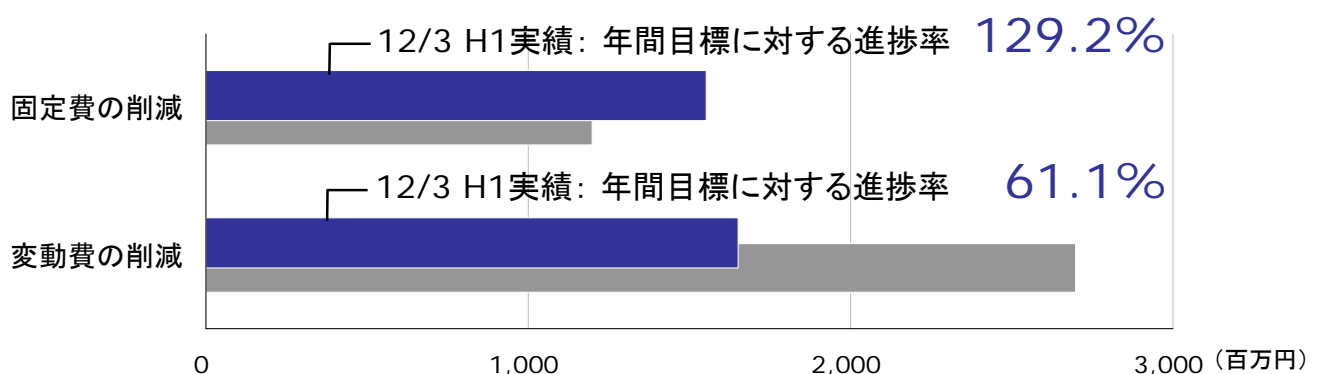
13

Nissha Confidential Proprietary

固定費・変動費削減の進捗

従来の取り組み（構造改革強化策着手前からの「今すぐとるべき対策」）計画と実績

	内容	2012/3期 計画	2012/3期 H1 実績
固定費の削減	<ul style="list-style-type: none"> ● 人件費削減 ● 全社部門経費削減 ● 減価償却費の減少 	1,200百万円	約1,550百万円
変動費の削減	<ul style="list-style-type: none"> ● 良品率改善 ● 外注加工費・材料費削減 	2,700百万円	約1,650百万円

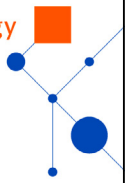


NISSHA

14

Nissha Confidential Proprietary

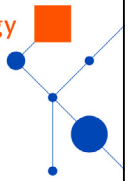
キャッシュフロー改善の進捗



従来の取り組み（構造改革強化策着手前からの「今すぐとるべき対策」）計画と実績

	2012/3期(2012年3月末) 計画	2012/3期H1(2011年9月末) 実績
在庫削減 (営業CF改善)	2011/3末水準以下を維持 (2011/3末在庫: 約15,200百万円) (2010/9末在庫: 約20,900百万円)	2011/3末比 約3,600百万円削減 (2011/9末在庫: 約11,600百万円)
設備投資の削減 (投資CF改善)	4,000百万円削減 (2011/3期比)	目標通りに推移

産業資材事業の戦略



- 主力のノートPC向けで低価格化が進む
- 円高による価格競争力の低下
- 欧米市場の低迷などで主要なお客さま企業の販売が不調
- 難易度の高い一部の仕様で生産性が悪化

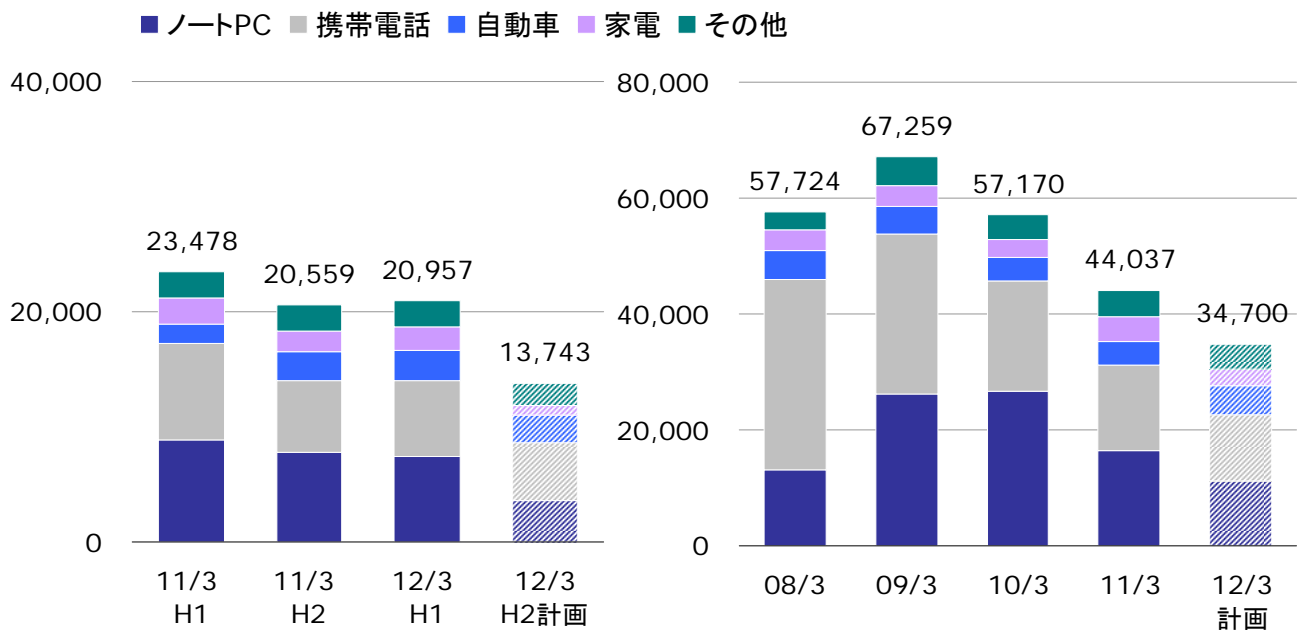


- デザイントレンドを先取りし、受注・シェアの拡大
- コスト低減をテコに、低価格ハイボリューム帯の受注拡大・工場稼働率の回復
- 設計の最適化により、生産・材料コストの低減
- 生産拠点の統廃合による固定費の削減
- 新技術の投入
 - 金属への加飾技術(2012年モデルをターゲット、中国に試作ライン設置)
- 新製品の投入
 - 機能性フィルム(離型フィルム・ハードコート機能フィルムなど)
 - 環境対応型樹脂への加飾

2012/3期 産業資材 ノートPC向けが大幅に減少

産業資材 用途別売上高の推移(半期、通期)

(百万円)



用途	08/3	09/3	10/3	11/3	12/3 計画
ノートPC	13,104	26,231	26,775	16,542	11,100
携帯電話	32,834	27,606	18,996	14,642	11,500
自動車	5,032	4,822	3,938	4,172	5,000
家電	3,522	3,532	3,176	4,254	2,900
その他	3,232	5,068	4,285	4,427	4,200

17

Nissha Confidential Proprietary

NISSHA

デバイスの戦略 収益力ある付加価値型ビジネスへ

- スマートフォン向けのフィルムセンサーの低価格化、競争激化
- 円高による価格競争力の低下
- 欧米市場の低迷などにより、主要なお客さまの不調

- ガラスセンサーに対するフィルムセンサーの優位性を活用
 - 薄さ、軽さ、割れない、三次元形状・屈曲性、モジュールプロセスの生産性で優位を目指す
 - ガラス同等の細線形成技術を確立(姫路工場の生産能力を増強)
- 自動車向けに注力
- 原材料の多様化
 - 銀ナノワイヤーインクの導電フィルムを世界で初めて実践投入
 - 光学特性に優れた原材料フィルムの投入

18

Nissha Confidential Proprietary

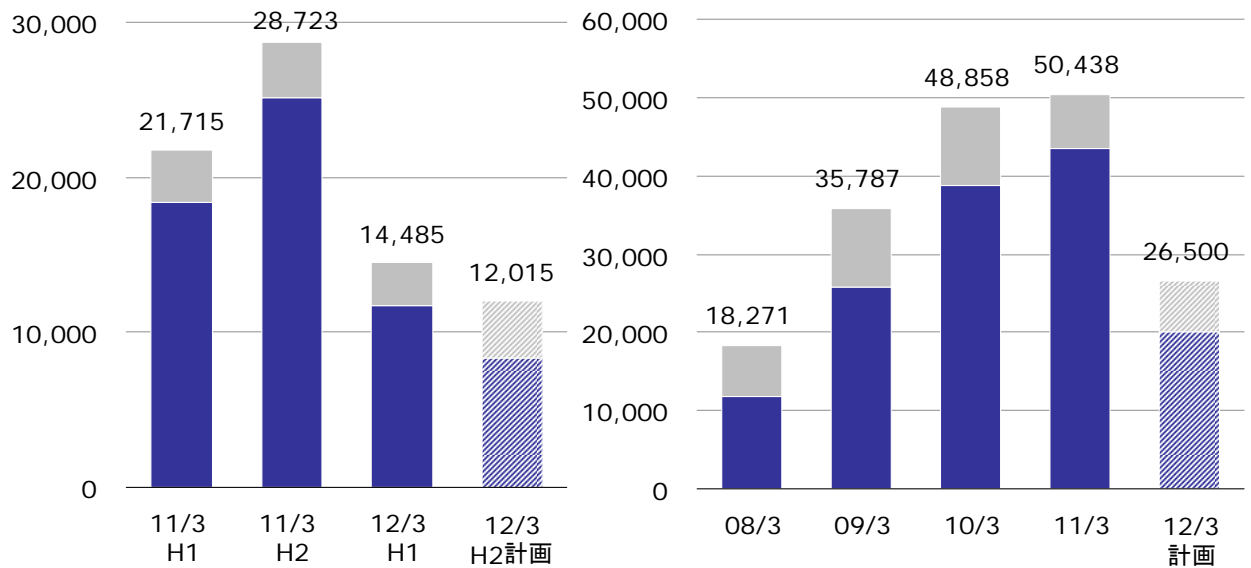
NISSHA

2012/3期 ディバイス スマートフォン向けが大幅に減少

ディバイス 用途別売上高の推移(半期、通期)

(百万円)

■ 携帯電話 ■ その他入力デバイス ■ その他デバイス製品



■ 携帯電話	18,426	25,114	11,700	8,300	11,769	25,803	38,813	43,540	20,000
■ その他入力デバイス (ゲーム機など)	3,290	3,609	2,786	3,714	6,438	9,984	10,046	6,898	6,500
■ その他デバイス製品	0	0	0	0	64	0	0	0	0

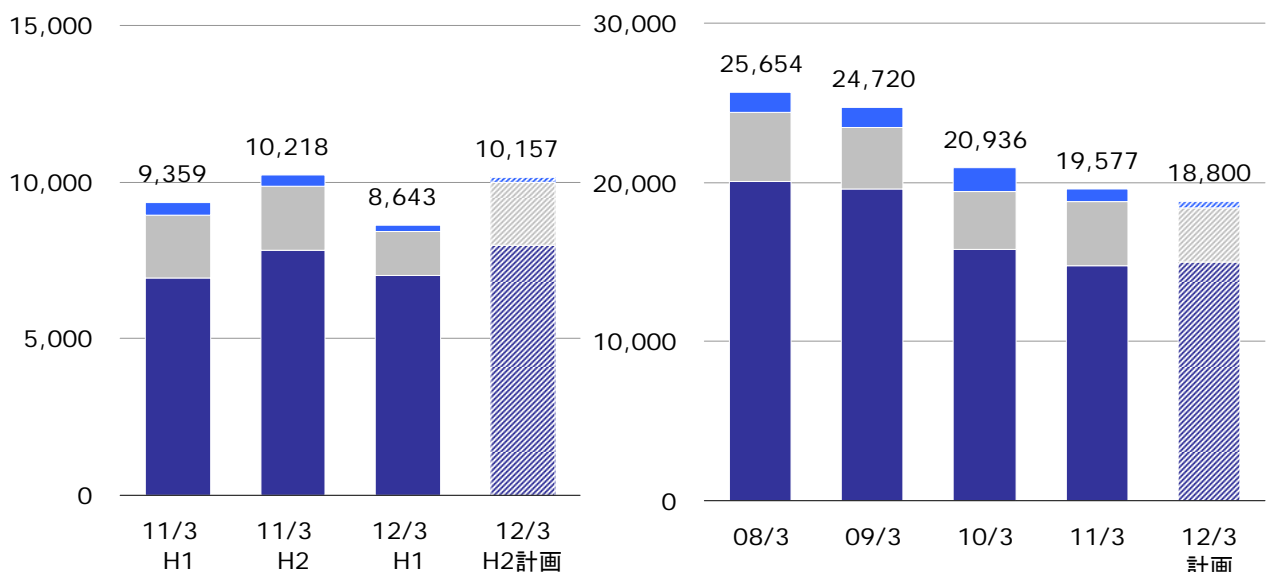
NIESHA

2012/3期 情報コミュニケーションその他 各分野とも維持

情報コミュニケーションその他 用途別売上高の推移(半期、通期)

(百万円)

■ 商業印刷 ■ 出版印刷 ■ その他



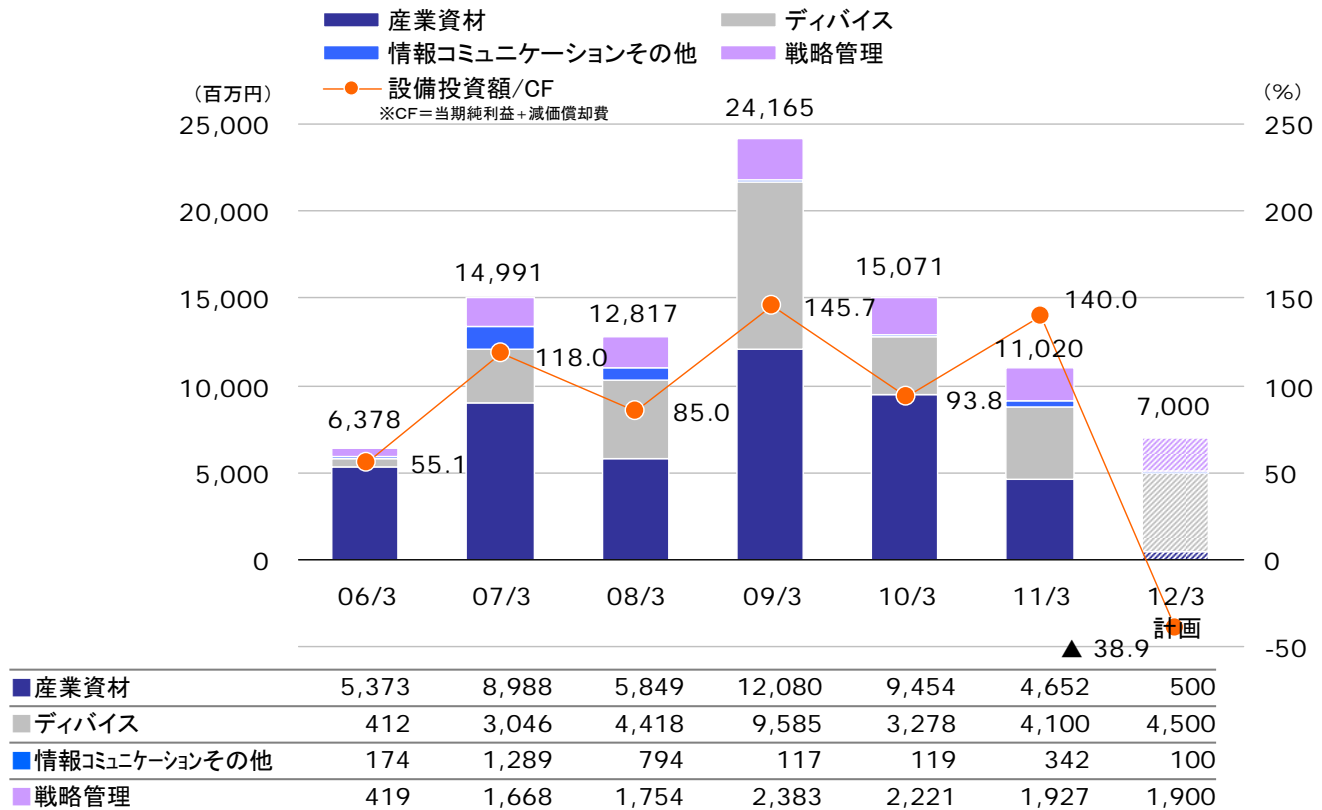
■ 商業印刷	6,924	7,839	7,001	7,999	20,033	19,573	15,817	14,763	15,000
■ 出版印刷	2,007	2,015	1,418	1,982	4,343	3,858	3,641	4,022	3,400
■ その他	428	364	224	176	1,278	1,290	1,479	792	400

※「その他」には情報コミュニケーション事業に含まれない不動産事業、人材派遣事業などの売上高を含みます。

NIESHA

2012/3期は設備投資を抑制

事業別 設備投資額の推移



21

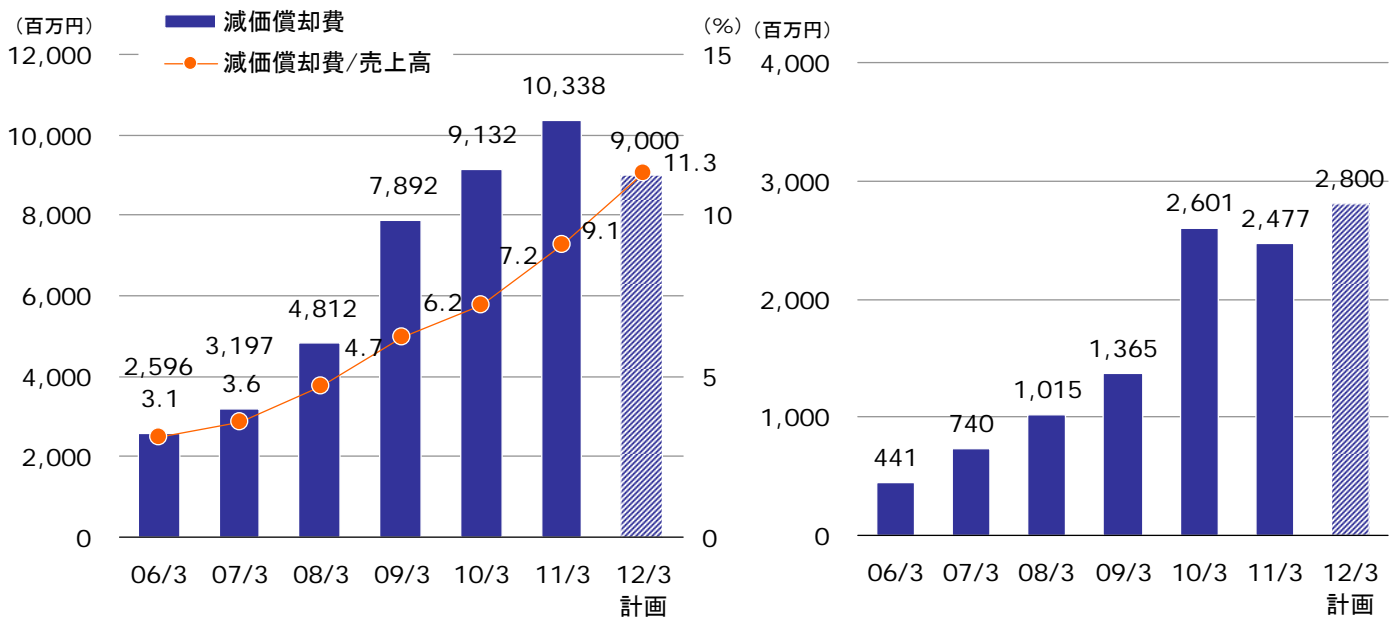
Nissha Confidential Proprietary

NISSHA

減価償却費は2011/3期でピークアウト

減価償却費の推移

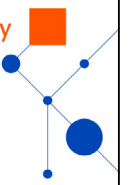
研究開発費の推移



22

Nissha Confidential Proprietary

NISSHA



2013/3期黒字化へ向けて

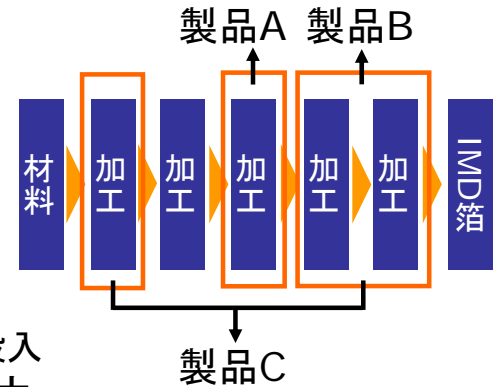
1. コスト体質の強化

- 構造改革強化策の完全遂行
 - 売上高の実態に見合った資産規模にサイズダウン
- 円高対応
 - 海外購買の拡大(海外購買比率の全社目標30%)
 - 主力製品の海外生産を加速
- 生産性の改善(特に産業資材事業)

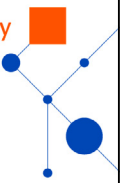
2. トップラインの拡大

- IMDだけでない産業資材事業
 - IMD箔生産における各工程技術を個別に活用し、新しい機能性フィルム・加飾フィルム製品を展開
- タッチパネルだけでないデバイス事業
 - アンテナ機能フィルム(ワイヤレス充電用)の市場投入
- IT市場に過度に依存しない事業ポートフォリオ
 - バランスの取れた事業ポートフォリオ

【IMD箔生産の各工程を個別に活用】



NISSHA



ご清聴ありがとうございました。

NISSHA

【お問合せ先】

日本写真印刷株式会社
コーポレートコミュニケーション室IRグループ
室長 谷口哲也

T 075 823 5144 (IRグループ直通)

NISSHA

印刷技術をベースに3事業を展開



産業資材 IMDを中心とした表面加飾技術

- IMD: 三次元のプラスチック製品の表面を加飾
* IMD=In-mold Decoration(成形同時加飾転写システム)
- IML: フィルムオーバーレイ技術で表面加飾
- 加飾フィルム・機能性フィルム



デバイス 抵抗膜・静電容量方式のタッチ入力デバイス

- 従来型抵抗膜方式 FineTouch "Classic"
- 加飾型抵抗膜方式 FineTouch "Touch Window"
- 静電容量方式 FineTouch "Capacitive"
 - センサー、センサーモジュール
 - Aカバーモジュール

情報コミュニケーション お客様のコミュニケーション戦略全般をワンストップでサポート

- コミュニケーションデザイン
- 商業印刷・セールスプロモーション
- 出版印刷・デジタルアーカイブ

印刷技術

NISSHA

免責事項

本プレゼンテーション資料には、日本写真印刷株式会社の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。

これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。

また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予想とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

- 本資料の業績数値は、特に注記がない限り、全て連結ベースとなっております。

NISSHA